

平成21年度 安房教育研究所役員一覽表

役 職	氏 名	所 属
顧 問	渡 邊 亮 司	千葉県教育庁南房総教育事務所 所長
運 営 委 員 長	溝 江 晃	郡市小学校長会 会長 北条小学校 校長
副運営委員長	石 井 正 幸	千教組安房支部 支部長 館山第二中学校 教諭
運 営 委 員	鈴木 義 康	地教連 会長 鋸南町教育委員会 教育委員長
	青 木 嘉 男	地教委 南房総市教育委員会 教育長
	溝 江 晃	郡市小学校長会 会長 北条小学校 校長
	安 藤 博 行	郡市中学校長会 会長 館山第三中学校 校長
	佐 藤 光 一	千教研安房支会 会長 田原小学校 校長
	羽 山 稔 彦	教育会 鋸南代表 鋸南中学校 校長
	山 口 正 義	教育会 館山代表 館山第二中学校 校長
	山 口 正 明	同 上 神戸小学校 校長
	八 卷 一 哉	教育会 南房総代表 富浦小学校 校長
	枡 本 清	同 上 丸山中学校 校長
	庄 司 節 子	同 上 丸 小 学 校 校長
	野 田 純	教育会 長狭代表 天津小学校 校長
	川 名 稔	同 上 安房東中学校 校長
	黒 川 利 也	安房地方小中教頭会 会 長 房南中学校 教頭
	石 井 恵 子	安房地方小中教頭会 副会長 長尾小学校 教頭
	石 井 正 幸	千教組安房支部 支 部 長 館山第二中学校 教諭
義 道 俊 文	千教組安房支部 副支部長 丸 小 学 校 教諭	
渡 邊 毅 之	千教組安房支部 教文部長 白浜小学校 教諭	
会 計 監 査	水 島 純 雄	郡市校長会 代表 神余小学校 校長
	岡 本 求	安房地方小中教頭会 代表 江見中学校 教頭
	水 島 清 浩	安 房 支 部 代 表 鋸南中学校 教諭
所 長	石 井 昭 博	東条小学校 校長
主 任 主 事	遠 藤 忠	館山第三中学校 教諭
会 計 主 事	神 子 純 一	千教組安房支部 書記長 那古小学校 教諭
庶 務 主 事	神 作 正 孝	千教組安房支部 書記次長 江見中学校 教諭
書 記	鈴木 浩 美	安房教育会館 書記

## 千葉県安房教育研究所 研究テーマ一覧表

\*第21集1971(46)年度より、調査研究部/教育研修部の2部制となる

紀要番号	研究年度	研 究 テ ー マ
1	1955	*安房地方における教育の現況
2	1956	*地域条件と児童・生徒の実態に即した学習指導の研究
3	1957	*安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 －児童・生徒の道徳意識と問題点－ *安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 －教師の道徳観と道徳教育上の問題点－
4	1958	*安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 －道徳の時間の実態と問題点－
5	1959	*安房地方における科学技術教育の実態と問題点 －科学技術教育を身につけさせる理科指導－
6	1960	*科学技術を身につけさせる理科指導－仮説を導くための予備的実験－
7	1961	*思考過程に即した学習指導の研究－説明的文章の読解指導を通して－
8	1962	*思考過程に即した学習指導の研究－説明文読解指導を通して－
9		*問題の子の診断と治療
10	1963	*生活指導の資料 ー生徒児童編ー
11	1964	*生活指導の資料 ー父兄教師編ー
12		*問題児の診断と治療(症例集Ⅱ)
13	1965	*観光地の子どもに与える影響について(第1集)
14	1966	*観光地の子どもに与える影響について(第2集) *安房郡市に於ける運動会白書
15	1967	*出張とその対策 *特殊学級の現状
16	1968	*安房地方に於ける学校の施設設備の実態について
17	1969	*学校における施設設備の効果的な管理・活用について
18		*家庭教育の役割と学校教育 ー家庭学習の実態とその問題点ー
19		*安房における教育論の探究
20	1970	*家庭教育の役割と学校教育 *安房教育論の探究 *ー教育用語ー
21	1971	*家庭教育の役割と学校教育 ー家庭の教育機能と養育態度ー *安房教育論の探究 ー教育工学ー
22	1972	*安房地方における教科指導の評価 ー教師と児童生徒の実態と問題点ー *安房地方における教育現代化の動向をさぐる
23	1973	*安房地方における教科指導の評価 ー実態と問題点(その2)ー *変貌する学校と教師
24	1974	*安房地方における教科指導の評価 ー実態と問題点(その3)ー *人間性回復の教育 ー望ましい学習指導を求めてー
25	1975	*安房地方における特別活動の現状をさぐる *ゆとりある授業の探究
26	1976	*特別活動の問題点をさぐる *個性・能力に応じた教育の探求
27	1977	*豊かな教育をめざしてー安房における特別活動の問題点とその解明ー *基礎的・基本的事項とその指導
28	1978	*望ましい習慣形成をめざしてー基本的な生活習慣に関する意識と実態 *新しい学力観に立つ授業の創造

紀要番号	研究年度	研 究 テ ー マ
29	1979	*望ましい習慣形成をめざして－基本的な習慣形成に関する問題点をさぐる－ *生き生きとした学校生活の実現－学校裁量時間とその活用－
30	1980	*新教育課程の運用に関する研究－学校裁量活動時間の運用の実態－ *学習意欲の喚起とその必要性
31	1981	*新教育課程の運用に関する研究－学校裁量活動時間の運用の実態（小学校）－ *集団の中で個の学習の成立をめざして
32	1982	*新教育課程の運用に関する研究 －安房地方における日課・時程表の運用の成果と問題点について－ *教科指導における新しい評価のとらえ方
33	1983	*新教育課程の運用に関する研究 －安房地方における日課・時程表の運用の成果と問題点について（Ⅱ）－ *教科指導における新しい評価の実践－指導と評価の一本化をめざして－
34	1984	*学ぶことの楽しさを体得できる授業の成立を求めて －安房子どものかかえる問題をさぐる－ *自己教育力を高める指導－学習意欲と学習技能を育てる指導－
35	1985	*学ぶことの楽しさを体得できる授業の成立を求めて －やる気をおこさせる教師の役割と現状－ *自己教育力を高める指導－学習意欲を質的・層的に見つめて－
36	1986	*学ぶことの楽しさを体感できる充実した学校の成立を求めて －子ども・保護者・教師のとらえた現状と問題点－ *個性重視の教育－教科指導の中で－
37	1987	*安房の子どもの遊びの現状と問題点をさぐる *個性重視の教育－質的個人差を生かす学習指導－
38	1988	*安房における親子ふれあいの現状と問題点 *魅力ある授業づくりを目指して
39	1989 平1	*安房における子どもどうしのふれあいの現状と問題点 *魅力ある授業づくりを目指して
40	1990 平2	*子どもと教師のふれあいの現状と問題点 *豊かな心を持った子どもの育成
41	1991 平3	*安房における学校外での子どもの様子の現状と問題点 －特に地域とのふれあいに視点をあてて－ *豊かな心をもった子どもの育成－学校における心の教育の一考察－
42	1992 平4	*学校週5日制に対応する学校教育のあり方 *たくましく生きる力の育成－学校教育における指導のあり方の一考察－
43	1993 平5	*学校週5日制に対応する学校教育のあり方－子どもは学校に何を望んでいるか－ *たくましく生きる力の育成－学校教育における指導のあり方の一考察－
44	1994 平6	*学校週5日制に対応する学校教育のあり方－今求められる教師像－ *安房地方における生涯学習のあり方を求めて－学校教育の役割の一考察－
45	1995 平7	*あなたはどんな教師でありたいですか－学校週5日制をむかえて－ *安房地方における生涯学習のあり方を求めて－学校教育の役割の一考察－
46	1996 平8	*魅力ある教師になりたいあなたへ －子どもの願いに応える教師として、自分をどう成長させていますか－ *「生きる力」を育む新学校像－ゆとりを生む教育課程のスリム化－

紀要番号	研究年度	研 究 テ ー マ
47	1997 平9	*「心の居場所」ありますか あなたの学級の子どもたち —どの子ども存在感・充実感をもてる学校・学級を目指して— *「生きる力」を育む学校を目指して —基礎・基本の充実と総合学習を通して—
48	1998 平10	*目の前の子ども 見えていますか?—安房の子どもたちの実態— *豊かな表現力をもった子どもの育成—言語による表現を中心にして—
49	1999 平11	*目の前の子ども 見えていますか?—安房の子ども達の規範意識— *自ら学ぶ子どもを育てる(その1)—課題設定までの教師の支援— *研究所ホームページの開設を目指して
50	2000 平12	*子ども達の規範意識の形成要因を探る —安房の子ども達のよりよい規範意識の形成に向けて— *自ら学ぶ子どもを育てる(その2)—体験を生かす支援のあり方— *安房らしいみんなが見たくなるようなHP作り
51	2001 平13	*学校と家庭・地域の連携を探る —これからの学校教育のあり方を求めて— *自ら学ぶ子どもを育てる(その3)—一人一人が生きる自己評価のあり方— *安房らしい、みんなが見たくなるようなホームページづくり
52	2002 平14	*自分のしたいこと 見つけられていますか? —年間165日の休日を持つ安房の子どもたちの実態からの考察— *確かな学力をつける学習指導のあり方 —評価を生かす指導の工夫— *広報活動活性化のためのWebページの充実
53	2003 平15	*したいことを持てる子にどう育てていきますか? —安房の子どもと社会教育のかかわり— *確かな学力をつける学習指導のあり方 —「書くこと」の領域の指導に活かす評価の工夫について— *広報活動活性化のためのホームページの充実
54	2004 平16	*育てていますか、子どもの心 —安房の子どもの心の成長と生活習慣や人間関係のあり方の考察— *「伝え合う力」をつける学習指導のあり方 —聞く力・話す力を高める指導の工夫を通して— *有効活用できるWebページの作成と学校Webページ作成及び公開のためのガイドライン策定
55	2005 平17	*輝いていますか、子どもの瞳 —意欲のある子どもを育てるために— *「伝え合う力」をつける学習指導のあり方 —互いの立場や考えを尊重しながら対話しようとする態度を育てる指導の工夫— *有効活用できるWebページの作成
56	2006 平18	*輝いていますか、子どもの瞳 —学習意欲のある子どもを育てるために— *自ら課題をつかみ見通しをもって学ぶ子どもの育成 —支援と評価の工夫— *魅力あるWebページ作り —ニーズにあった内容の充実を図る—

57	2007 平19	<ul style="list-style-type: none"> <li>*より好ましい生活を確認するために <ul style="list-style-type: none"> <li>－安房の子どもの規範意識の現状を探る－</li> </ul> </li> <li>*自ら学び続ける子どもの育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>追究過程の支援の工夫</li> </ul> </li> <li>*魅力あるWebページ作り <ul style="list-style-type: none"> <li>－ニーズにあった内容の充実を図る－</li> </ul> </li> </ul>
58	2008 平20	<ul style="list-style-type: none"> <li>*より好ましい生活を確認するために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>－安房の子どもの規範意識と行動の関係を探る－</li> </ul> </li> <li>*思考力を高める学習指導のあり方 <ul style="list-style-type: none"> <li>－筋道を立てて考える子どもの育成－</li> </ul> </li> <li>*ホームページ閲覧数のアップを目指した内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>－54年間の研究の再発見と今－</li> </ul> </li> </ul>
59	2009 平21	<ul style="list-style-type: none"> <li>*より好ましい生活を確認するために <ul style="list-style-type: none"> <li>－小中の接続をなめらかにするための有効な手立てを探る－</li> </ul> </li> <li>*思考力を高める学習指導のあり方 <ul style="list-style-type: none"> <li>－「書く」・「話す」活動を通して－</li> </ul> </li> <li>*情報収集の場としての研究所HPの活用の方策を探る</li> </ul>

## あ と が き

21世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、「知識基盤社会」の時代であると言われています。そのため、「教員には、常に研究と修養に努め、専門性の向上を図ること」が求められ、各学校においては日々の教育活動を充実させるために、教師力、その根幹である授業力の向上を図ることが不可欠となります。

さて、今年度、安房教育研究所宿泊研修会で御講演いただいた玉川大学学術研究所の山極隆先生は、『授業研究 21』（明治図書 2010. 3月号）の特集「一斉指導の“技”を支える学級統率力」の中で知識基盤社会について次のように述べています。「このような（知識基盤）社会においては、社会経済活動に影響を与える知識や技術を創出し、それを可能にする優れた人材を育成することが求められる。学校教育の質、人材育成、科学時術等が国家の存亡を左右する時代である。しかるに我が国は少子高齢化社会を迎え、労働力の減少、子どもの学力や学ぶ意欲・学習習慣の衰退、家庭の教育力の低下等大きな問題を抱えている。・・・我が国は国家の存亡を掛けて質の高い教育を復権しなければ国としての衰退は目に見えている。」そのため、「学校教育にあっては、単なる抽象的な理念ではなく、例えば『教員の資質能力の向上を通じて、教室の規律と規範意識に裏付けられた子どもの質の高い学力を身に付けさせるとともに、教育活動の過程や結果を常時検証・分析・説明して教育の質を高め、家庭・地域との連携に基づいて公教育の信頼を取り戻す』等の具体的なミッションを打ち立て」ていく必要があると述べています。このように、私たちは、授業改善を通じて 21 世紀という新しい時代が目指す授業の在り方を見直し、「授業力」を向上させていかなければなりません。

現在、安房地域は教職員の大量退職の時代を迎え、安房教育研究所においては、組織的・継続的な教育研究を通じて安房地域の教育課題を解決するとともに、安房教育の良き伝統を引き継いでいくための若手の育成が課題となっております。これまでの研究の成果と課題を踏まえ、教職員としての資質向上を図るとともに、研究成果の発信をしていかなければなりません。

本年度も、安房教育研究所は安房地域の今日的教育課題を見据え、調査研究部・教育研修部・情報部に分かれて研究テーマを設定し、地域に根差した研究活動を展開してまいりました。今年の研究実践も、所員の旺盛な研究意欲と実践力に支えられたものでした。研修会以外にも幾度となく所員所属校に集まり、協議を重ね、まとめ上げるに至っております。このような所員としての使命感、責務を実直に果たそうとする先生方の姿こそが連綿と引き継がれてきた研究所の伝統ではないかと思えます。

○終わりに

本年度も、安房教育研究所『研究紀要 第 59 集』を刊行するはこびとなりました。この紀要は研究の視点からいうと、十分とはいえない点が多々見られることと思えます。先生方や各教育関係機関の皆様には、忌憚のない御批正を頂きますようお願い致します。

最後になりましたが、本研究所の活動に対し、多くの方々から温かい御理解と御指導をいただきました。特に直接御指導をいただきました千葉県教育庁南房総教育事務所 主任指導主事 青木和詳先生、同指導主事 庄司智子先生、前鴨川小学校長 石井忠雄先生、玉川大学学術研究所特任教授 山極 隆先生、そして、各教育委員会、校長会、教頭会、千教組安房支部、各教育関係機関の皆様にお礼申し上げます。

（主任主事 遠藤 忠）

平成 21 年度 研 究 紀 要 第 59 集

発行日 2010 年 3 月 31 日

発行者 千葉県安房教育研究所

責任者 研究所長 石 井 昭 博

編集者 主任主事 遠 藤 忠

所在地 〒294-0014

館山市北条 2609-20

安房教育会館内

☎0470-22-0670